

大友宗麟 時代に先駆け世界を見つめた、異色のキリシタン大名。ザビエルと宗麟の出会いは、ヨーロッパに衝撃を与えた。

おおともそうりん

遣明船復活・1530 =

長年にわたって豊後を支配してきた大友家の義鑑の長男に生まれる。

天王寺合戦・1531 = 1歳：

..... 1539 = 9歳：元服。

鉄砲伝来・1543 = 13歳：

足利義輝將軍1546 = 16歳：飛鳥井雅教に蹴鞠を習う。
父義鑑が、次男(弟)を後継にしようとしたことから、

上杉謙信登場1548 = 18歳：

ザビエル来日1549 = 19歳：

大内布教許可1550 = 20歳：

二階崩の変が起こり、父を始め、一族の多くが死去。家督を継ぎ、豊後・肥後の守護職につくが、生来、病弱だったようで、自ら戦闘に出ることなく、参謀的に差配するとともに、知性優れ、平和志向で、
*ザビエルを招いて、謁見。敬意をもって接しられ、キリスト教の優れたところを理解。貿易振興も狙って、

織田信長登場1551 = 21歳：

出国に際し、ポルトガル国王あて親書・贈物を託す。

大友布教許可1552 = 22歳：

*大内義隆滅亡で、弟晴英を後継者に送る。宣教師ガゴが来府、説教を聴き、領内での布教を許可。

川中島の戦始1553 = 23歳：

宗麟暗殺計画が露見し、誅する。宣教師への迫害を禁止、信徒が700人近くになる。信徒がつけていた

..... 1554 = 24歳：

菊池武義を敗死させる。

大陸邦民事件1555 = 25歳：

ザビエル出府後も留まっていた医師免許を持つ貿易商人アルメイダにより、府内には、礼拝堂や育児院が建設され、信徒1500人を越す。

..... 1556 = 26歳：

豊前を征服。

..... 1557 = 27歳：

毛利氏に追われる義長(晴英)を見殺し、以後、山口の宣教師らが領内に移り、毛利氏との抗争が続く。アルメイダにより、日本初となる西洋式病院まで建設された。

..... 1558 = 28歳：

直後に豊前、筑前、肥前を制圧、ポルトガル国王からの返書が届く。

大友府内開港1559 = 29歳：

旧領と合わせ6ヵ国を握り各国守護、潜在主権として長門・周防守護に任じ、九州探題にもなる。

桶狭間の戦・1560 = 30歳：

大村長崎開港1562 = 32歳：

出家して宗麟と号する一方、本拠地を臼杵に遷し、教会と城を結ぶ大通り、日本最大のキリシタン墓地を整備するなど、平和のうちの統治をめざした。信徒がつけていたバッジも大量に見つかっているが、その素材はタイ産の鉛で、鉄砲玉を造る上で、九州に不足した鉛の輸入は、硝石とともに、南蛮貿易の重要な商品であり、ポルトガルに対し、毛利氏には輸出しないよう依頼もしている。

大村純忠受洗1563 = 33歳：

將軍足利義輝の命により、毛利元就と一旦和睦するが、

川中島の戦終1564 = 34歳：

..... 1566 = 36歳：

岐阜楽市楽座1567 = 37歳：

筑前秋月で毛利軍と大戦、

織田信長入京1568 = 38歳：

毛利氏の豊前、筑前への侵攻に対抗して筑後高良山へ出陣、筑前立花城を中にはさんでの総力戦を指揮。大内輝弘を周防へ送り込み山口を占領させ、撤退する毛利勢を討って筑前を回復。

石山合戦始・1570 = 40歳：

再び、毛利氏と和睦し、以後しばらくの間、全盛期で、豊後府内は、博多、堺に匹敵する都市になった。

室町幕府滅亡1573 = 43歳：

この間、南蛮貿易の利権を巡って、島津氏との緊張が高まるなか、

長篠の戦・1575 = 45歳：

二男が受洗し、以後家臣の入信が増加。

安土城築城・1576 = 46歳：

引退し、家督を譲る。

安土楽市楽座1577 = 47歳：

重臣の養子の受洗をめぐって、神官の出の夫人らが激怒して迫害、苦境に陥る。

上杉謙信没・1578 = 48歳：

*島津氏の侵攻を受けるべく、日向に出兵するにあたり、離婚して新夫人を迎え、受洗、洗礼名は、ザビエルにちなむフランシスコであった。教会音楽好きにもなっていたことから、陣を張った地を、MUSICAを示す無鹿と称し、島津氏に勝利したあかつきには、日向をキリシタンの理想郷にしようと、神社仏閣を破却、以後一族郎党も次々と受洗するが、平和志向の上、嫡子義統の無能ぶりもあって、島津義久に惨敗。

安土教会許可1579 = 49歳：

カンボジア国王から、象が贈られた。政界に復帰し、共同統治者から後見役の立場で義統を助ける。

本能寺の変・1582 = 52歳：

伊東マンショらの遣欧使節を派遣。

長久手の戦・1584 = 54歳：

豊臣秀吉関白1585 = 55歳：

秀吉太政大臣1586 = 56歳：

島津氏の圧力に耐えかね、みずから上洛して、豊臣秀吉に援を請うが、

八咫追放令 1587 = 57歳：

*秀吉の島津制圧直後に、病没した。

キリシタンに好意を示した動機は明らかに貿易が目的で、豊後府内沖ノ浜などを南蛮船の貿易港とし、フィリピン等へ貿易船を派遣するなど十分な成果をあげ、博多の一部を教会領に寄進している。ザビエルが大友宗麟と謁見したことは、ヨーロッパに衝撃を与え、世界地図上の日本は、九州全体がBUNGOという別の国として記され、17世紀前半に、フランドルの画家ヴァン・ダイクが、想像で、「豊後大名大友宗麟に拝謁する聖フランシスコ・ザビエル」なる絵を描いた。